生駒市の取り組み

生駒市パートナーシップ宣誓制度

詳しくはこちらから

市民一人ひとりが自分らしく生きることができるように、性的マイノリティであるカップルが、互いをその人生のパートナーとして宣誓したことを認証する制度です。関係性に法的な効力はありませんが、二人の生きづらさや不安を少しでも軽減し、社会的理解が進むように実施しています。

【パートナーシップ制度自治体間連携ネットワークにも参加しているよ!】

パートナーシップ宣誓をした人たちが引越しした時の手続きを減らすために、全国でパートナーシップ制度を導入した自治体が連携する「パートナーシップ制度自治体間連携ネットワーク」に加盟しています。

※2025年2月1日現在で、19府県171自治体が提携しています。

交流会や個別相談会の開催

性的マイノリティの人たちの生きづらさや不安を解消してもらえるように、またもっと社会の理解がすすむように、毎年、相談会や交流会を開催しています。

出前授業や研修・講演会

生徒・児童向けの出前授業や、教職員向研修等の開催、市民向けに講演会や「どこでも講座」を実施しています。

学校の取り組み

生駒市の市立中学校では、令和7年度に男女共通の新制服の導入が完了し、だれもが入学時にスラックスかスカートを選択できます。また、市立全小中学校で「男女混合名簿」を実施しています。



企業の取り組み

企業でもLGBTQ+に対する理解が高まっています。研修の実施や相談窓口の設置、理解者・支援者を増やすネットワークづくりなど、当事者が安心して働ける職場環境の整備に取り組む企業が増えています。

「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」が2023年6月にできました。

性のあり方は多様で人それぞれ
LGBTQ+だけではなく、全ての人に関わることです

人は生まれもったからだの性とこころの性や、見た目の性が一致しているとは限りません。性のあり方はたくさんあって、どれが正しい、どれが間違っているというものではなく、個性と同じようにみんな違っているもの。大切なのは全ての人が自分らしく生きることができることなのです。

01 **からだの性（身体の性）**
生まれながらの身体の性

02 **こころの性（性自認）**
自分の性をどう認識するか

03 **好きになる性（性的指向）**
どのような性の人を好きになるか

04 **表現する性（性表現）**
服装やしぐさ、言葉づかいなど

SOGIE（ソジー）ってなに？

SOGIEとは性を構成する要素を表しています。好きになる性（Sexual Orientation）とこころの性（Gender Identity）、表現する性（Gender Expression）の頭文字をとって「SOGIE（ソジー）」と表します。性のあり方は、LGBTQ+だけでなく全ての人に関わることです。また、異性を好きになる人を「ヘテロセクシャル（異性愛者）」、からだの性とこころの性が一致している人を「シスジェンダー」と言います。

LGBTQ+ってなに？

LGBTQ+は性的マイノリティ（少数派）を表すことばの一つとして使われています。



- **L** レズビアン…同性を好きになる女性
- **G** ゲイ…同性を好きになる男性
- **B** バイセクシャル…同性も異性も好きになる人
- **T** トランスジェンダー…生まれた時とは異なる性別で生きる人
- **Q** クエスチョニング…性自認や性的嗜好がわからない人、決めない人
- **+** 人を好きにならない人や、自分の性を限定しない人などたくさんの性のあり方があります

生駒市総務部人権施策課
〒630-0288　奈良県生駒市東新町8番38号　TEL:0743-74-1111（代表）

2025年3月発行



自分らしく生きる
LGBTQ+

こころ・からだ
好きになる人はいろいろ

性の多様性の基礎知識